



鴻巣市立下忍小学校

令和元年10月31日発行

学校だより

◎教育目標（目指す子ども像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

Tel 548-2300

音楽の力で「感動」「友情」「達成感」を

校長 宮野和幸

校庭の木々も徐々に色づき始め、秋の気配も大分深まってきました。

今月下旬から始まった保護者面談は、ほぼ概ね順調に進み、充実感のある大変貴重な時間となりました。大変お忙しい中でのご来校、誠にありがとうございます。引き続き、本校学校教育への温かいご協力とご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、早いもので明日から11月へと移行します。彩の国教育週間、校内音楽会、6年生の修学旅行、校内持久走大会等、実に様々な行事が盛りだくさんの11月です。

2学期の始業式で、私は今学期に頑張りたいことの一つに「わくわく・どきどきするような感動体験を通し、一步一步確実に成長して欲しい」という思いを子ども達に話しました。校内音楽会を例に挙げて考えてみましょう。発表内容は、各学年や学級によって異なりますが、合唱や合奏となっており、曲にかける熱い思いや様々な工夫がなされています。現在、各教室からはリコーダー等の音色や子ども達の歌声が響き、校内では音楽会一色の雰囲気は漂っています。どの学級も本番で頑張ろうという気持ちが伝わってきます。

私はこの夏、大宮ソニックシティを会場に開催された、第62回埼玉県合唱コンクール[高等学校部門]を鑑賞してきました。各学校の人数による声量や、混声・同声等による違いはあるものの、どの学校にも「ここを聴いて欲しい」という熱い思いが鑑賞している人達にも大変よく伝わってきました。また、私自身、高校生達の豊かな表情、からだ全体を使っての表現力、指揮者の迫力ある息づかい等を実際に間近で鑑賞しながら、思わずジーンとする瞬間や場面が幾度となくありました。この本番の歌声を聴いて、時間をかけて徹底的に自分に与えられたパートや伴奏を練習し、それぞれの歌声と曲への思いが一体となった時に、「心が震える素晴らしい合唱」になるのだと改めて感じ取ることができました。

本校児童にも、音楽会を通して、このように人と人が心を合わせ、お互いに信頼し合い、一体となることの素晴らしさを知ってほしいと願っています。世の中には、「一人でやらなければならないこと」と、「皆で力を合わせなければならないこと」があります。行事で例を挙げるのなら、持久走大会での走りは、きつく苦しい場面があっても、最後は一人で立ち向かうものなので、前半が該当するでしょうし、音楽会はまさに後半のものです。

音楽は心をつなぐ。指揮棒の先に気持ちを集中させ、曲の思いを届けようと発達段階に応じた技能や表現力を磨きます。学校では、音楽会を始め様々な行事を通じて、競い合って自分の力を伸ばすことと同様に、補い合うことや励まし合うこと、いたわり合うことや認め合うことを指導しています。そうした環境のなかで、友情を育みながら、皆で何かを創り上げることの心地よさや達成感を、子ども達に実感させたいと思います。出来不出来だけではない、心の成長をどうぞ感じ取っていただきたいと思います。

子ども達は、様々な喜びや悔しさの経験や体験から、教室では得られない実に多くのことを学ぶものです。そして、子ども達には無限の可能性が 있습니다。中には、自分自身さえ気が付かない可能性が潜んでいることもあります。様々な感動体験は、そのような可能性を引き出してくれる良きチャンスを与えてくれます。小学校時代での多彩な感動体験を通して、自分磨きに頑張ってくれることを心から願っています。

さあ、ここにしかない熱き思いと音楽を今年も届けます。皆様どうぞ、お楽しみに。